

# 令和元年度 支部事務局事業実績

日本赤十字社沖縄県支部

# 実 施 事 業

1. 会員制度の普及促進と財政基盤の強化
2. 災害救護事業の強化
3. 国際救援活動の推進
4. 赤十字奉仕団の活動強化と青少年赤十字の拡充
5. 講習普及事業の推進
6. 職員の資質向上のための研修の充実
7. 赤十字各施設間の連携強化

## 1. 会員制度の充実と財政基盤の強化

日本赤十字社沖縄県支部の活動の財源は、協力会員・会員が納める会費によって賄われていることから、地区分区や赤十字奉仕団等の協力を得て赤十字思想の普及及び会員増強の取り組みを行った。

### (1) 活動資金募集実績

	令和元年度	平成30年度
目標額	153,000,000円	153,000,000円
実績額	138,856,460円	137,404,700円
達成率	90.8%	89.8%

### (2) 赤十字思想の普及及び会員増強

- ア 協力会員・会員の加入促進  
赤十字有功章等の受章者の増強
- イ 地区分区長会議の開催  
(八重山4/3、宮古4/4、南部4/5、北部4/16、中部4/18)
- ウ 地区分区職員への協力依頼 (4/11～4/12 宿泊研修：読谷村)
- エ 赤十字会員増強運動月間の実施
  - ①知事メッセージの発表による県民への赤十字運動への参加呼び掛け (5/17)
  - ②地区分区活動資金募集出発式及び自治会(区長会)への説明会の実施
  - ③赤十字地域奉仕団(19団体)による募集活動(5月月間)
  - ④県下市町村にパンフレット・ポスターを配布
  - ⑤地区分区、関係機関での運動月間懸垂幕の掲示
- オ 広報活動の強化  
赤十字ふれあいフェスティバルの開催 (5/11)
- カ 赤十字寄付金付自動販売機の設置推進 (111台)

### (3) 赤十字会員の表彰

- ア 全国赤十字大会への参加 (5/22 東京明治神宮会館)
- イ 沖縄県赤十字有功会総会 (6/24 那覇市内ホテル)  
金色有功章13件、銀色有功章21件
- ウ 九州八県赤十字大会の開催 (8/30 長崎県)  
※令和元年8月豪雨災害の影響により中止  
※表彰者については、令和2年沖縄県赤十字大会にて表彰

エ	沖縄県赤十字大会の開催 (1/21 浦添市てだこホール)	
	社資功勞の部	
	社長感謝状7名、金色有功章9名、銀色有功章38名	計54名
	業務功勞の部	
	社長感謝状9名、金色有功章23名、銀色有功章29名	
	感謝状(10年)25名、感謝状(5年)81名	計167名
	※九州八県赤十字大会表彰者(本大会にて表彰)	
	社資功勞の部	
	社長感謝状2名、金色有功章1名、銀色有功章1名	計4名
		合計225名

## 2. 災害救護事業の強化

救護活動は赤十字活動の原点でもあることから、災害救護組織体制の整備と訓練による強化を図るとともに、義援金の受付と救護看護師の養成を行った。

### (1) 日本赤十字社沖縄県支部救護班要員

ア	災害対策本部要員(支部施設役職員)	36人
イ	血液供給要員(血液センター職員)	16人
ウ	特殊救護要員(薬剤師、助産師、介護福祉士等)	35人
エ	救護班要員	30人

医	師	1名	計6名			
看	護	師		長	1名	
看	護	師		2名		
主	事	1名				
自	動	車		操	作	員

5個班編成  
(沖縄赤十字病院)

オ	こころのケア要員	3人
	こころのケア指導者	7人
	こころのケア研修修了者	115人
カ	全国赤十字救護班研修修了者	29人

### (2) 義援金・救援金受付状況(沖縄県支部)

ア	義援金(国内)		
①	東日本大震災義援金		
	令和2年3月末現在	50件	2,448,250円
	累計	11,328件	1,197,555,410円

② 平成 28 年熊本地震義援金			
令和 2 年 3 月末現在		9 件	61,560 円
	累計	1,410 件	221,446,669 円
③ 平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金			
令和 2 年 3 月末現在		4 件	82,855 円
	累計	75 件	11,431,048 円
④ 平成 30 年 7 月豪雨災害義援金			
令和 2 年 3 月末現在		7 件	1,212,010 円
	累計	138 件	65,747,233 円
⑤ 平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金			
令和 2 年 3 月末現在		5 件	358,947 円
	累計	25 件	7,280,264 円
⑥ 令和元年 8 月豪雨災害義援金			
令和 2 年 3 月末現在		7 件	893,568 円
⑦ 令和元年台風第 15 号千葉県災害義援金			
令和 2 年 3 月末現在		16 件	1,573,619 円
⑧ 令和元年台風第 15 号東京都義援金			
令和 2 年 3 月末現在		3 件	605,900 円
⑨ 京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金			
令和 2 年 3 月末現在		9 件	122,770 円
⑩ 令和元年台風第 19 号災害義援金			
令和 2 年 3 月末現在		94 件	15,645,951 円

#### イ 救援金（海外）

①2019 年モザンビークサイクロン救援金			
令和 2 年 3 月末現在		4 件	130,898 円

(3) 臨時救護班の派遣

令和元年度全国高等学校総合体育大会沖縄県

自転車競技ロードレース 赤十字職員 8名

競泳競技 赤十字職員 2名

ボランティア 12名

第55回神奈川県南方諸地域戦没者追悼式 赤十字職員 2名

第35回N A H A マラソン 赤十字職員 10名

(4) 救援物資の支給 (沖縄県内 火災・自然災害等の被災者)

毛 布 14枚

タオルケット 7枚

安眠セット 1セット

緊急セット 4セット

衣類セット 3セット

(5) 救護班の訓練等

救護員訓練<6回>

① 美ら島レスキュー2019 (陸上自衛隊第15旅団主催訓練)

12/17~12/18 開催 赤十字職員 11名参加

② 沖縄県総合防災訓練 (宮古島市)

8/29~9/2 開催 赤十字職員 9名参加

③ 航空機事故対処訓練 (那覇空港)

11/19 実動訓練 赤十字職員 6名参加

2/19 図上訓練 赤十字職員 1名参加

④ 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練 (沖縄県)

11/22~11/24 開催 赤十字職員 40名参加

ボランティア 81名参加

⑤ 那覇市総合防災訓練

10/26 実動訓練 赤十字職員 7名参加

ボランティア 2名参加

1/15 図上訓練 赤十字職員 2名参加

⑥ 救護機材取扱習熟訓練

1/24 開催 赤十字職員 6名参加

#### 研修会<5回>

- ① 日赤災害医療コーディネート研修会  
12/7～12/8 開催 赤十字職員 1名参加
- ② 全国赤十字救護班研修会  
8/24～8/26 開催 赤十字職員 4名参加
- ③ 支部救護班研修会  
7/11 第1部 赤十字職員 11名参加  
8/1 第2部 赤十字職員 11名参加
- ④ 支部避難所対処研修会  
9/19 開催 赤十字職員 11名参加
- ⑤ 支部こころのケア研修会  
10/31 開催 赤十字職員 19名参加

#### (6) 防災教育事業の開催

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 防災講話           | 2回 (沖縄ライオンズクラブ、ILC沖縄)     |
| 防災図上訓練 (DIG)   | 2回 (うるま市立石川中学校、中頭教育事務所)   |
| 炊き出し訓練         | 2回 (東浜自治会、沖縄高圧ガス保安協会)     |
| 避難所運営ゲーム (HUG) | 2回 (那覇市教育事務所、赤十字青年・安全奉仕団) |

#### (7) 救護看護師の養成

赤十字特別推薦で選抜した看護学生3名に奨学金を貸与し、日本赤十字九州国際看護大学にて養成。

- ・奨学金 年額1人110万円 (沖縄赤十字病院と折半)
- 令和元年度、奨学生3名へ貸与。

### 3. 国際救援活動の推進

NHK海外たすけあい募金を実施。全県下に積極的な広報活動を展開し、JRC加盟校、赤十字有功会、赤十字地域奉仕団ほか、多くの県民から協力を得た。

- (1) 「令和元年度 (第37回) NHK海外たすけあい」 (12/1～12/25実施)  
救援金受付状況 955,420円

## 4. 赤十字奉仕団の活動強化と青少年赤十字の拡充

赤十字奉仕団は、赤十字活動において重要な役割を担っていることから、地域奉仕団未結成分区への結成の働きかけを行った。

青少年赤十字は、青少年が赤十字の「人道・博愛」の精神を理解し、日常生活の中での実践活動を通して、思いやりのある心豊かな青少年に成長することを目指して、幼稚園、小学校、中学校、高校の中に組織され活動しており、令和元年度は新たに1園、1校が加盟校となった。  
※現在の加盟校数については、P.8を参照。

- (1) 支部奉仕団委員会の開催 2回
- (2) 地域赤十字奉仕団等の育成24団体  
地域奉仕団(19) 特殊奉仕団(4) 青年奉仕団(1)  
※赤十字飛行隊沖縄支隊(本社直轄)
- (3) 地域奉仕団による奉仕活動  
ア 赤十字病院での受付案内  
イ 移動献血場所での受付案内  
ウ 奉仕団による福祉施設訪問の実施  
エ 愛の心もちつき会(12/14 沖縄中央育成園) 約160名参加
- (4) 青少年赤十字賛助奉仕団による奉仕活動  
ア 青少年赤十字加盟登録式への参加(12校)
- (5) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター  
ア 夏季(8/9~8/11 石川青少年の家 84名参加)  
イ 春季(3/25~3/27 玉城青少年の家 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止)
- (6) 青少年赤十字大会(11/1 浦添市社会福祉協議会 3階ホール 219名参加)
- (7) 青少年赤十字国際交流事業  
九州ブロック海外派遣事業  
【第6(九州)ブロック各県支部主催: 団長県(沖縄県支部)】  
8/17~8/23 ベトナム社会主義共和国  
派遣者数: 沖縄県青少年赤十字メンバー 2名  
沖縄県青少年赤十字指導者 1名  
日本赤十字社沖縄県支部事務局 4名  
(事務局長, 事業推進課長, 主事, 沖縄赤十字病院看護師)



アメリカ赤十字ユースとの交流会

10/14 嘉手納基地内施設

参加者：沖縄県青少年赤十字メンバー 19名

沖縄県青少年赤十字指導者 2名

日本赤十字社沖縄県支部事務局 1名

(8) 青少年赤十字防災教育出前講座

『まもるいのち ひろめるぼうさい』

6/ 4 恩納村立安富祖小中学校

6/20 赤十字奉仕団勉強会

7/22 沖縄県立浦添高等学校 リーダー研修

7/26 国頭教育事務所 中堅職員研修

7/30 国頭教育事務所 初任者職員研修

10/23 那覇市教育研究所 中堅教諭対象研修

那覇市立安謝小学校

『ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!』

8/ 1 読谷村波平団地自治会

9/ 6 読谷村赤十字奉仕団研修会

2/20 社会福祉法人牧浦福祉会 ありあけ保育園

2/21 北中城赤十字奉仕団研修会

※青少年赤十字加盟校の状況

	加盟校
保育園・幼稚園	5校
小学校	68校
中学校	70校
高校	49校
合計	192校

※ 新規加盟により保育園1園・高校1校増、  
休園・閉校により幼稚園1園・中学校1校減

## 5. 講習普及事業の推進

交通事故、水難事故、高齢者を抱える家庭内での緊急時等に、身近にいる人が行える応急措置としての救助技術を修得してもらうことを目的とした各種講習会を開催した。

### (1) 講習会実施状況

令和2年3月末現在

講習種別		実施回数 (回)	受講者数 (人)
救 急 法	基礎講習	21	601
	救急員養成講習	8	234
	短期講習 (資格継続研修含む)	92	3,156
	合 計	121	3,991
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ	7	140
	救助員養成講習Ⅱ	2	21
	短期講習 (資格継続研修含む)	3	113
	合 計	12	274
健康生活支援講習	支援員養成講習	6	43
	災害時高齢者 生活支援講習	6	59
	短期講習	0	0
	合 計	12	102
幼児安全法	支援員養成講習	0	0
	短期講習	0	0
	合 計	0	0
総 合 計		145	4,367

## 6. 職員の資質向上のための研修の充実

- (1) 支部施設合同中堅職員研修会の実施（対象：概ね3年以上勤務した職員）  
（9/25 開催：19名参加）
- (2) 支部施設合同係長職研修会の実施  
（2/12 開催：50名参加）
- (3) 支部施設合同新規採用職員研修会の実施  
（3/24、25 開催：33名参加）

## 7. 赤十字各施設間の連携強化

- (1) 各施設に救護要員を配置しており、防災訓練については各施設救護要員を動員して参加し、互いの連携強化。
- (2) 支部施設管理会議を定例開催し、各施設長が運営状況の確認、意見交換を行い、施設間の連携強化。
- (3) 支部施設総務課長連絡会議を定例開催し、情報共有を図り施設間の連携強化。
- (4) 支部施設合同で職員研修を開催し、各施設職員間の連携強化。